

# 手作りの劇で心ホカホカ



1月28日(日)、市民劇団 心呂座は『あした ここから』の公演を披露しました。11月ごろから練習を始め、今回初めて団員自ら演出を行い、まさに市民の手で作り上げた演目。142名ものお客様が大満足のニコニコ笑顔になりました。団員の皆さんはどんな思いで舞台に立っていたのでしょうか。反省会にお邪魔して、インタビューしてきました。

台本を読んでいる  
時から楽しかった

舞台に立つことを  
本当に楽しめた

小さかった子が  
恋愛場면을  
演じていて、  
成長に感激！

演劇を  
もっと勉強  
しなければ！

次は  
新しい人が  
来てくれる  
かな？

経験のない役で  
新たな道が開けた

みんなに支えられ  
て劇が仕上がった

ひと頃は何十人もの子どもが舞台に立ったこともあるとか！ もうすぐ迎える20周年に向けて、より多くの皆さんと演技を作っていきたいそうです。

今回は『あした ここから』で「松 ひかり」役を演じた高橋明莉さんに、今回の公演の感想や演劇の魅力について話を聞かせてもらいました。

## 高橋 明莉さん

今回の演劇では今までで初めて恋愛要素が入っていて、恥ずかしい気持ちもあったけど演じていて純粋に楽しかったし、演技を通して自分の中で恋心を感じることができて面白かったです！ 劇の最後のあいさつの時にお客さんがニコニコ笑っているのを見て、演劇をしてよかったと感じました。

演劇は演じる役によって考え方や小さな癖、話し方まで様々で自分とは全然違って、同じ役を演じていても人によって相槌や「おはよう」などの細かなセリフの言い方にその人の感じ方や個性が出て面白いし、勉強になるし、楽しくて、何回演じても飽きないところが魅力だと思います！

オアシス通信では、今後も市内で活動に励む個人・団体の特集していきたいと考えています。どうぞお楽しみに！